



としょかんだより



令和5年 6月 長岡第十小学校

そろそろ梅雨^{つゆ}が近づ^{ちか}いてきました。雨^{あめ}が降^ふってエアコンをつけていてもジメジメとして
いますね。

雨^{あめ}の日は、図書室^{としょしつ}でゆっくりと読書^{どくしょ}を楽し^{たの}んでください。

さて、なぜ、「梅雨(つゆ)」というのでしょうか？5月^{がつ}から6月^{がつ}は雨^{あめ}が^{おお}多く、湿度^{しつど}が^{たか}高いの
で、カビ^{はっせい}が発生^じしやすい時期^{じき}です。そのため、「霪雨(ばいう)」と^よ呼ばれていました。こ
の「霪」^{ばい}は、カビと読みます。カビでは印象^{いんしやう}が^{おな}よくないので、同じように「ばい」と^よ読
む「梅」^{うめ}の字^じを^あ当てて「梅雨」^{ばいう}呼^よばれるようになったと^い言われています。

**どくしょじゆんかん はじ
読書旬間が始まります！**

6月^{がつ}12日^{にち}(月^{げつ})～ 6月^{がつ}23日^{にち}(金^{きん})まで春^{はる}の読書旬間^{どくしょじゆんかん}です。今回^{こんかい}は、いま
までのビンゴやク
イズとは違^{ちが}った取^と組^くみを^{さん}します。ど^{さん}な内^{ない}容^{よう}か^かはこ^とこに^しは書^ききま^たせん。図^と書^し室^{しつ}に^き来^たて確
か^ためて^たください。す^たて^たき^たな^たプ^たレ^たゼ^たン^たト^たも^たあ^たり^たま^たす^たよ。楽^たし^たみ^たに^たし^たて^たい^たて^たく^ただ^たさい^たね。

た^{さん}く^{さん}の^{さん}み^{さん}な^{さん}が^{さん}参^{さん}加^かし^てく^れる^とう^れい^いです。

ほん あたらしい本



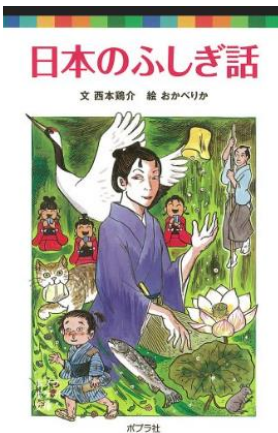
『給食室のいちにち』 大塚 菜生

みなさんが学校で毎日食べる給食。その給食を作っている調理員さんや献立を考える栄養士の先生など、給食室の様子がよくわかります。



『おばあちゃんがぼけた』 村瀬 孝生

人間は生まれ、遊んで、働いて、愛して、やがて人生が終わります。でも、その前に「ぼけ」てしまうことがあります。この1冊で「ぼけ」とはどんなことなのか、学びましょう。



『日本のふしぎ話』 西本 鶏介

真夜中に家じゅうのものが勝手に動き出したり、壁に描かれた鶴が飛び立ったり……。そんなことが本当に起こるのか?!
昔から伝えられてきた摩訶不思議な物語を集めています。
ふしぎな世界へようこそ!!